

3月

リハビリテーションについて

整形外科部長
(リハビリテーション運営委員長) やまがみ とおる
山上 亨



皆さんこんにちは。リハビリテーション科部長を兼任している、整形外科部長の山上 亨です。今回は「リハビリテーション」という言葉について解説いたします。

1. 「リハビリテーション」単語の歴史

「リハビリテーション」は、古くは「罪に問われた人が再び社会での名誉を回復する」という意味でした。1910年代以後になり戦争で負傷した兵士の社会復帰のための訓練として使われるようになりました。

現在「リハビリテーション」は、「障害者の社会参加と平等」つまり「障害のある人がその障害を気にすることなく社会生活を行えること」を目標にした行為とされています。ここでいう「障害」とは「身体、精神に何らかの機能低下をきたした状態」と定義されます。従って「リハビリテーション」という言葉は、大変範囲が広く、社会全体で整備されるものと考えられています。例としては、介護保険の整備、歩道の点字ブロックの設置、駅のエレベーターの整備等があり、すべてこれらは「社会的リハビリテーション」と呼ばれます。

2. 医学的リハビリテーションとは

病院で行われるリハビリテーションは、「医学的リハビリテーション」と呼ばれており、主に「理学療法」、「作業療法」、「言語聴覚療法」の三分野があります。

「理学療法」は、もともと戦争や事故で大きなケガを負った人の治療から始まり、座る、立つ、歩くなどの基本生活動作の回復を目指します。「作業療法」は精神科疾患、発達障害者の治療とともに発達して、上肢を中心とした日常生活の機能回復を目指します。「言語聴覚療法」は、コミュニケーション機能（聞いて理解して話すこと）、摂食嚥下機能（食べて飲み込むこと）の回復を目指す分野です。

医学的リハビリテーションは、「医師」と「理学療法士」、「作業療法士」、「言語聴覚療法士」を中心に「看護師」、「保健師」、「栄養士」、「薬剤師」、「メディカルソーシャルワーカー」が緊密に連携して行われます。「病気が治った時」に順調に社会に戻れるように、「生活環境の整備」まで含めて行われます。そして、医学的リハビリテーションで最も大切なことは、患者さん自身がこの「リハビリテーション」の精神を理解して、自分の持つ能力を最大限に引き出して社会復帰することです。

富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2024年3月1日～15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 心電図検査に異常があったら」

(出演者) 循環器内科部長 藤井 望



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ

絶賛
放送中



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>